

学校名	尾花沢市立玉野小学校			実践者	駒沢 優弥
学年	3年	教科	総合的な学習の時間	単元名	スイカ博士への道
本時の目標	郷土の良さを見つけ、情報を整理し、相手に正確に発信することができる。				
ICT活用の分類	<b>【A 一斉学習】</b> <input type="checkbox"/> A1:教師による教材提示	<b>【B 個別学習】</b> <input checked="" type="checkbox"/> B1:個に応じた学習 <input checked="" type="checkbox"/> B2:調査活動 <input type="checkbox"/> B3:思考を深める学習 <input checked="" type="checkbox"/> B4:表現・制作 <input type="checkbox"/> B5:家庭学習	<b>【C 協働学習】</b> <input checked="" type="checkbox"/> C1:発表や話し合い <input checked="" type="checkbox"/> C2:協働での意見整理 <input checked="" type="checkbox"/> C3:協働制作 <input checked="" type="checkbox"/> C4:学校の壁を越えた学習		
主に使用するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者用コンピュータ、指導者用コンピュータ、大型提示装置</li> <li>・Microsoft「Teams」</li> <li>・Microsoft「PowerPoint」</li> <li>・オンライン会議アプリ「Zoom」</li> </ul>				
活用の場面・方法 (活用のポイント)	<input type="checkbox"/> 導入の場面 <input type="checkbox"/> 展開の場面 <input checked="" type="checkbox"/> まとめの場面  <どのように使ったか> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大石田小学校の4年生との「総合発表会」を目標に総合的な学習の時間にて尾花沢スイカの秘密について調べ、情報をまとめた。</li> <li>・従来のビデオ通話を使った大判用紙による発表では、映像に遅延が生じることが多く、情報を遠隔地にいる相手に正しく伝えることができなかった。「PowerPoint」を使用し、紙媒体を画像として挿入し、文字入力やエフェクトを活用することで、3年生でも簡単にプレゼン資料を作成することができた。「PowerPoint」を「Zoom」で画面共有することで遅延なく発表をすることができた。</li> <li>・「Teams」を使ってグループで画像を共有したり、同一画面上で同時制作をしたりすることができた。</li> </ul>				
児童生徒の学びや活用の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科と外国語活動の年間カリキュラムを変更し、4月からアルファベットとローマ字の学習を開始し、二学期始めにはタイピング入力を始めることができた。今では、ほとんどの児童がローマ字表を見なくてもタイピングすることができるようになり、学習者用コンピュータを使った意見の交流もスムーズに行えるようになった。</li> <li>・グループで活動をする中で「エフェクトは何にするか」「画像はどこに配置するか」など同時制作による意見交換が活発に行われた。相手意識をもつことで、より制作に力が入り児童自身も満足いく作品になった。総合発表会では緊張感を持ちながらも大石田小学校の児童にスイカの秘密を伝え、来年度も大石田小学校と交流をしたいという感想が多く出た。</li> </ul>				
実践を通しての考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大石田小学校」という相手意識をもつことで、「伝えたい」「聞きたい」という気持ちを高めることができた。学習者用コンピュータの使用は児童にとって楽しいものであり、タイピングやソフトの操作などすぐに吸収し、自分の技術として取り入れることができた。</li> <li>・今回の学習で、学校内から他の学校へと情報の発信をすることができたため、今後は地域から世界へと発表の場を変移させ、「尾花沢の良さを多くの人に伝えたい」思いを高めさせていきたい。そのための様々な表現方法、発信方法があることを指導し、何を使ってどのように伝えるのか児童自身に考えさせていきたい。</li> </ul>				

